

ホール、スタジオ HIKARI、練習室等を利用される皆様へ

～新型コロナウイルス感染症拡大予防マニュアル～

※このマニュアルには、ホール等をご利用されるに当たって、主催者等の皆様に実施をお願いしたい対策などを記載しています。ご不明な点がございましたら、ホール運営課までお問い合わせください。

1 はじめに

- 公演等の実施に当たって、感染防止に必要な物品（消毒薬、体温計、手袋など）をご用意ください。
- マスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- 三密を避けるため、社会的距離を考慮した席の配置、受付等のレイアウトを検討してください。
- 当面の間、消防法令等の定員に関わらず、各会場の利用人員を、ホール【403 人以下（車いす席を除く）】、スタジオ HIKARI 【66 人以下】、練習室【32 人以下】と制限するほか、舞台上、搬入リフト内、楽屋、スタジオ HIKARI バックヤード等の付帯施設も、社会的距離を考慮した利用形態（適正定員の設定）とします。
- ※座席等の配置、受付等の設置方法等については、附属資料を参照してください。
- ホール等を使用する主催事業及び貸館事業の利用開始は、令和2年9月1日とします。
ただし、利用再開までの間は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の取組を進めるほか、その検証のため、主催事業・主催イベントの限定的使用（稽古など）に限り利用できるものとします。
- SNS等の技術を活用した、施設利用者に対する感染発生状況等の情報提供にご協力ください。
（LINE コロナお知らせシステムの活用と掲示、及び周知）

2 下見・技術打合せ時の対応

- 職員はマスク着用で対応させていただきます。
- 打合せ時はビニールパーテーションを挟んでの対応とさせていただきます、お越しいただく人数も必要最小限でお願いいたします。
- ※ご来館いただいた際に検温等をお願いする場合があります。前もってご了承ください。

3 利用前の感染予防対策

- 公演等の企画、舞台作りなどを進めるに当たり、社会的距離を考慮したものとしてください。
 - ・日頃から、スタッフの検温、体調管理等の実施をお願いします。
 - ・リハーサル・本番を想定し、会場内での定期的な換気の実施を検討するほか、お客様の入・退場時の混雑やトイレ混雑の緩和のため、余裕を持った入館・退館時間や休憩時間を 9:00 ～22:00 の利用時間内で確保してください。
 - ・客席は来場者同士の接触感染等を防止するため、指定席や前後左右の間隔をあけるなどを考慮した仕様としてください。
 - ・来場者と出演者が接触するような演出（ステージに上げる、ハイタッチなど）は行わないようお願いいたします。
 - ・同じ公演等で複数日利用の際、日時や客席の指定予約による調整などで、入場数を分散するな

どの検討をお願いします。

- ・大人数での来館の制限や時間差での来場・入場を前もって周知してください。
- ・入場待機列を設定し、誘導対応等を実施してください。

○出演者、スタッフ等の管理について

- ・各自検温を行うこととし、発熱がある場合や、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻水・鼻づまり、味覚・嗅覚障がい、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状に該当する場合には自宅待機とするよう周知してください。
- ・緊急連絡先等を把握し、必要に応じて保健所等の公的機関に情報提供することを事前に周知してください。
- ・来館時、楽屋や舞台、スタジオ HIKARI、練習室等で出たゴミ類は、密閉して全て持ち帰りになることを事前に周知してください。
- ・本マニュアル等を踏まえた現場の対応方針を作成し、全員に周知徹底してください。

○「LINE コロナお知らせシステム」にご登録をお願いします。

- ・登録後、発行される「感染防止対策取組書」を会場入り口に掲示いただきます。
- ・お客様が取組書にある二次元コードを読み取りされると、公演後、新型コロナウイルスに感染された方が発生し、同じ施設の利用者に濃厚接触などの感染リスクが疑われる場合、対象者にメッセージが送られます。

4 利用当日の対策

来場されるお客様に対し、本マニュアルに基づき主催者の皆様が取り組む感染防止対策を、入口や会場内などに掲示し周知いただくとともに、ご理解及びご協力いただけるよう呼び掛けください。

【舞台】

- ・青少年センター舞台スタッフは、マスク着用（場合によってはフェイスシールドを着用）で対応させていただきます。
- ・外部スタッフ・出演者の検温の実施、マスクの着用（出演者はリハーサル及び本番時間を除く）をお願いします。
- ・搬入・仕込み・搬出の際は、社会的距離をできる限り保つようお願いします。
- ・公演中ご使用になったホール備品（リノリウム、椅子、テーブル、演台一式等）は、終了後アルコール消毒をお願いします。
- ・吹奏楽等で使用される場合は、「唾入れ」をご持参ください。
- ・ホール音響備品及びスタジオ HIKARI のハンドマイク等はできる限り使い回しをせずに、使用者が複数いる場合はその都度アルコール消毒をお願いします。
- ・ホール備品のピアノをご利用の場合、終了後鍵盤を中心にアルコール消毒をお願いします。

【ホール楽屋、スタジオ HIKARI バックヤード、練習室等】

- ・社会的距離の確保のため、ホール楽屋内の収容人数に制限を設けました。ご了承ください。
楽屋1：定員9名、楽屋2：定員14名、楽屋3：定員12名、楽屋5：定員5名、
楽屋6：定員4名、楽屋7：定員24名、楽屋8：定員13名
- ・スタジオ HIKARI バックヤードの定員は18名、交流スペースの定員は20名、練習室の定員は32名

とします。

- ・楽屋(スタジオHIKARIバックヤードを含む)においては、空調による換気に加え、サーキュレーター等を室外に向けて用いた換気の実施に努めてください。
- ・使用したテーブル・椅子・ロッカー・その他備品は、アルコール消毒して、利用開始前の状態に原状復帰してください。

【ホワイエ・交流スペース(受付、物販等)】

- ・来場されたお客様に、咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底をお伝えください。
- ・お客様が入場される際に、「LINE コロナお知らせシステム」のご利用をお声がけください。
- ・開場待ち、トイレ使用等で並ぶ場合は十分な社会的距離を保っていただけるようお声がけください。
- ・お客様に検温等のご協力をお願いする旨、周知をお願いします。
- ・下記の症状に該当する場合、入場をお断りするようお願いいたします。
 - ①検温の結果、発熱が認められる場合
 - ②咳・咽頭痛などの症状がある場合
 - ③過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への渡航歴がある場合等
- ・定期的な換気や消毒を徹底してください。
- ・入場時のチケット確認(もぎり)の簡略化をお願いします。
 - ※例えば、チケットを目視で確認後、お客様ご自身でもぎって半券を箱に入れていただくなど。
- ・パンフレット、チラシ、アンケート等は手渡しによる配付及び回収を避けていただくようお願いします。
- ・出演者へのプレゼント、差し入れ等は極力ご遠慮くださるようお願いいたします。
- ・当日券販売やチケットの当日引換及び物販時にも感染防止対策をお願いします。
 - ①当日券販売、当日引換、物販に携わる者は、マスク着用や手指の消毒を徹底するようお願いいたします。
 - ②対面での販売に当たっては、ビニールパーテーション等により、購買者との間を遮る措置を講じてください。
 - ③現金の授受は、直接お互いの手が触れないよう対策を取ってください。
 - ④多くの者が触れる見本品・サンプル等は置かないようご配慮ください。
- ・ホワイエ、ロビー、交流スペースにおける食事は当面の間禁止とします。ただし、飲料は可とします。
- ・荷物預かり用のロッカーは当面の間使用を禁止しています。ご承知おきください。
- ・終演後の出演者との面会やサイン会及び打ち上げ等のご遠慮いただくようお願いいたします。
- ・使用したカウンター・テーブル・椅子・ビニールパーテーション・その他備品は、アルコール消毒して、利用開始前の状態に現状復帰してください。

【客席】

- ・ホール客席のキャパシティーは、403人以下(車いす席は除く)とします。
- ・スタジオ HIKARI のキャパシティーは、66人以下とします。
 - ※当日ご利用になる主催者の皆様には、お客様の安全に留意し、社会的距離を保つよう、客席プランを立てていただくようお願いいたします。
- ・最前列席とアクティングエリアの間は4m程度の距離を確保していただきますようお願いいたします。

・使用した椅子(ひじ掛け等)、ドア、手すりなどは、アルコール消毒をお願いします。(入替え時も含む)

5 感染が疑われる者が発生した場合

- 感染が疑われる者が発生した場合、施設管理者に連絡し、感染が疑われる者を速やかに別室に案内するとともに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。
- 他の来場者に説明を行うとともに、保健所等による聞き取りに協力し、必要な情報提供にご協力ください。
- 対応するスタッフは、マスクや手袋、フェイスシールド等の着用を徹底するようにお願いします。

【添付資料】

- 感染防止を考慮した各会場の定員等、座席の配置例、受付等の配置例、楽屋等の利用図など(参考)

令和2年7月15日 策定

令和2年9月2日 改定

ホール運営課

電話 045-263-4477